

**JIMTOF 工作機械最前線!****「金属3Dプリンタ」  
ソディック社 OPM250L**

当機械は、金属粉末焼結積層と切削加工を用いた工作機械で、同じくソディックのCAD、CAMシステムと射出成形機を合わせることで、プラスチック射出成形のワンストップソリューションを実現するとPRされています。また、加工精度は100分1までを実現可能としており、既にプラスチック成型射出成形用の金型への普及が始まっています。今回の展示ブースでは、OPM250Lで製作したスマートフォンケースの金型で、射出成形の実演を行なっていました。



スマホ感覚の MAZATROL Smooth X の実演

**「新タッチパネル式 CNC 装置」  
マザック社 Smooth X**

ヤマザキマザックは、世界初となる新技術を搭載した2台のハイブリッドマルチタスキングマシンをはじめ、21台の最新機械を展示しています。一際目立つブースと定期的に行なわれるプレゼンテーションは、注目を集めていました。

対話型CNC装置MAZATROL Smooth Xは、タッチパネルによるまるでスマートフォンのような操作性が特徴で、操作に関係のないボタンが表示されないなど、使いやすさの追求がなされています。展示会場ではスタッフによる実演が行なわれていました。

**「ウォータージェット加工機」  
スギノマシン社 NC-5AX**

高速、高精度加工を実現するため機器の高剛性化、低重心化を進め5軸NCを採用。XYZ軸にAB軸を加えた同時5軸制御とすることで高速切断時に精度と効率を両立。また、超高圧ポンプはサーボモーター駆動方式を採用し、圧力を従来比50%高め難削材も高品質・高効率に加工できます。さらに吐出圧力向上により高速切断加工を可能にしました。NCからの直接指令による独自テーパ補正機能も追加したほか、水中切断と低騒音ポンプで作業環境も大幅に改善しました。



「使いやすさ」をテーマに複合加工機・5軸加工機が数多く展示されていました。そしてそれらの機械で稼働率を上げる上で大切なことは「使いやすさ」です。特にマンマシンインターフェース（制御装置）の「使いやすさ」を追求した新商品を各メーカーが発表しておりました。今回のJIMTOFも盛況でした。工作機械市況は4年を1サイクルとして好不況を繰り返す業種です。来年は“ものづくり補助金”も継続する様ですし、少なくとも来年いっぱいくらいは業界の好調も継続するのではないのでしょうか。大洋サンソも高圧ガスや消耗品といった商品だけでなく、工作機械にも挑戦しております。お客様の現状を打破するお手伝いを是非させていただきます！